

東洋大学学術情報リポジトリ Toyo University Repository for Academic Resources

論文以外のコンテンツ

雑誌名	東洋大学文学部紀要．史学科篇
号	39
発行年	2013
URL	http://id.nii.ac.jp/1060/00006636/

東洋大学文学部紀要

第 67 集

史 学 科 篇

第 39 号

東 洋 大 学

2013



東洋大学

東洋大学文学部紀要

第67集

史学科篇

第39号



東洋大学

目次

論文

源頼信と河内源氏の展開過程……………森 公章……………(二)

大坂千鰯屋近江屋市兵衛の経営(一)……………白川部 達夫……………(五二)

戦時期の外米輸入……………大豆生田 稔……………(七七)

——一九四〇—四三年の大量輸入と備蓄米……………

清末行政綱目訳註(二)……………千葉 正史……………(一三三)

アイネイアス『攻城論』……………高 畠 純 夫……………(二二八) 31

——訳および註解——(2)……………

中世王国年代記写本のなかの世界図<mapamundi>……………鈴木 道 也……………(二五八) 1

彙報……………(二五九)

◎研究室の動き

○人事

二〇一三年四月一日付

・平成二十五年度大学院文学研究科史学専攻長に補される

岡本 充弘

・平成二十五年度文学部史学科学科長に補される

高畠 純夫

二〇一四年三月三十一日付

・平成二十五年度大学院文学研究科史学専攻長を退任する

岡本 充弘

・平成二十五年度文学部史学科学科長を退任する

高畠 純夫

二〇一三年四月一日付

・教授に任ぜられる

鈴木 道也

・講師に任ぜられる

後藤はる美

◎大学院史料調査実習

・二〇一三年八月二十七日～二十九日

上沢海博物館、北方文化博物館(豪農の館)(以上、二十七日)、

新潟県立歴史博物館、浄興寺、林泉寺、顕聖寺(以上、

二十八日)、長野県立歴史館(以上、二十九日)

◎史学科調査実習

・二〇一三年四月十四日 史学科の学部生を対象とした実習

を行いました。

国立歴史民俗博物館(佐倉市)

専任教員活動報告

森 公章 教授

研究活動

○著書

・『在庁官人と武士の生成』 単著 二〇一三年九月一〇日 吉

川弘文館(一～二八〇頁)

○論文

・「源頼信と河内源氏の展開過程」 単著 二〇一四年二月二十八日

『東洋大学文学部紀要』史学科篇三九号 一～五〇頁

○研究報告

・「交流史から見た沖ノ島」

二〇一三年一〇月二日 「宗像・沖ノ島と関連遺産群」国際

学術研究集会

○その他

・「天智天皇―白村江戦後の空位と天智変貌の理由とは?―」

単著 二〇一三年四月一日 『歴史読本』五八の四(一三二～

一三七頁)

・「再現!歴史の現場 白村江の戦い」 単著 二〇一三年九月八日

『週刊新発見!日本の歴史』一〇(朝日新聞出版)(八～九頁)

・「古代山城と地方支配からみた国家形成過程」 単著
二〇一三年九月一四日『屋嶋城が築かれた時代』（高松市・高松市教育委員会）（四七～五一頁）

・「書評 田中史生著『国際交易と古代日本』」 単著 二〇一三年九月二〇日『日本史研究』六一三号（八〇～八六頁）

・「白村江戦と水城・山城の造営」 単著 二〇一三年一二月二五日『都府楼』四五号（二～二一頁）

○調査活動

・国際日本文化研究センター共同研究「日記の総合的研究」共同研究員

・人間文化研究機構国立歴史民俗博物館「古代地域社会の実像」共同研究員

・東洋大学二〇一三年度国内特別研究

学会活動

白山史学会、木簡学会、史学会、日本歴史学会、日本史研究会、大阪歴史学会、

続日本紀研究会、正倉院文書研究会、延喜式研究会、条里制・古代都市研究会、

高知海南史学会、朝鮮史研究会

教育活動

・学内 日本史学研究指導Ⅰ（大学院）

社会的活動

・練馬区文化財審議委員

・大宰府史跡調査研究指導委員会委員

・文部科学省教科用図書検定調査審議会臨時委員

・大学評価・学位授与機構学位審査会歴史部会専門委員

・国立歴史民俗博物館総合展示第一室リニューアル委員会委員

・奈良県「日本と東アジアの未来を考える委員会」歴史研究会部会委員

大学・学部管理・運営活動

・大学院人文科学研究科委員

神田 千里 教授

研究活動

○著書

・『戦国時代の自力と秩序』 単著

二〇一三年九月一〇日 吉川弘文館、三三四頁。

○その他

・「鳥原の乱の実像」 単著

二〇一三年三月三十一日『栃木史学』第二七号、一～一五頁

・「信仰譚・奇跡譚からみたキリシタン信仰」 単著

二〇一三年七月五日 説話文学会編『説話から世界をどう解き明かすのか』（笠間書院）、三〇八～三二〇頁。

○学会活動

白山史学会（会長・会員）・史学会（同）・日本史研究会（同）・

海南史学会（同）。

教育活動

○学内 日本史学卒論演習・日本史史料研究・歴史学基礎演習・日本史概説（以上学部）・日本史学特論・日本史学演習（以上大学院）

社会的活動

なし。

大学・学部管理・運営活動

なし。

白川部 達 夫 教授

研究活動

○論文

「大坂干鰯屋近江屋長兵衛と地域市場」『東洋大学文学部紀要』六六集史学科三八号、二〇一三年三月一五日、四三～九四頁
「大坂干鰯屋仲間と近江屋長兵衛」『東洋大学人間科学総合研究所紀要』一五号、二〇一三年三月二七日、一九五～二一四頁

「宮川新田と高橋家の成長」白川部達夫編『近世・近代の地域社会と名望家』（井上円了記念助成・共同研究二〇一二年度報告書）三～一二頁。

○研究報告

「名望家としての高橋家」二〇一二年二月七日、東洋大学、

「共同研究：近世・近代の地域社会と名望家」研究会

「近世質地請戻し慣行と東アジア社会」二〇一三年二月四日、中央大学、中央大学人文科学研究所公開研究会・研究チーム「地域史研究の今日的課題」研究会

○調査活動

文部科学省科学研究費補助金・基盤研究C・一般「近世後期の肥料商と地域市場」研究代表者

東洋大学井上円了記念助成・共同研究「近世・近代の地域社会と名望家」研究代表者

○学会活動

白山史学会（会長）、関東近世史研究会（評議員）、日本古文書学会（評議員）、歴史学研究会、日本史研究会、歴史科学協議会、地方史研究協議会（会員）

教育活動

○学内

歴史の諸問題、日本史学基礎演習、日本史史料研究、日本史学卒論演習③、卒業論文指導、（以上学部）日本史学特論Ⅲ、日本史学演習Ⅲ、日本史学研究指導Ⅲ（以上大学院）

○学外

中央大学 日本社会経済史、日本史演習 慶応大学 日本史概説

社会的活動

「寛政期の下肥値上げ反対運動について」川崎市公文書館歴史講座、(二月一〇日、於川崎市公文書館)

大学・学部管理・運営活動

東洋大学学術研究推進センター長

大豆生田 稔 教授

研究活動

○論文

・「戦時期の外米輸入——一九四〇～四三年の大量輸入と備蓄米」単著、『東洋大学文学部紀要』第六七集史学科篇第三九号、二〇一四年三月

○書評

・Book Review, *The Historical Consumer: Consumption and Everyday Life in Japan, 1850-2000*, edited by Penelope Franks and Janet Hunter, Palgrave Macmillan, 2012, *Social Science Japan Journal*, Vol.17 No.1 Winter, 2014, Oxford University Press, pp. 133-136.

○学会報告

・史学会第二一回大会(東京大学)、公開シンポジウム「帝国とその周辺」、趣旨説明・司会(杉森哲也氏とともに)、二〇一三年十一月九日

・民衆史研究会二〇一三年度大会シンポジウム(早稲田大学)、「総力戦と食——近代日本における「食」の実態とポリティクス——」、報告「総力戦下の外米輸入——一九四〇—四三」、二〇一三年二月一日

○学会活動

・白山史学会(常任委員)、史学会(理事)、社会経済史学会(評議員)、歴史学研究会、政治経済学・経済史学会、経営史学会、首都圏形成史研究会、同時代史研究会、日本農業史学会、日本植民地研究会

○調査活動

・日本学術振興会二〇一三年度科学研究費補助金(基盤研究(C))、「戦争と食糧難——太平洋戦争前後における食糧消費の窮乏化に関する実証的・総合的研究——」、研究代表者

・日本学術振興会二〇一三年度科学研究費補助金(基盤研究(B))、「戦前期日本商社の環太平洋貿易の総合的研究」、連携研究者

教育活動

○学内 地域史(日本) A—産業革命と地域—、地域史(日本) B—産業革命と地域—、歴史学基礎演習①—日本史の論文を読んでみよう—、日本史史料研究④—日本近現代史史料の講読—、日本史学卒論演習⑤—日本近現代史の卒論作成—(以上、学部)、日本史学特論V—日本近現代史の諸問題—、日本史学演習V、日本史学特殊研究V、日本史学研究指導V—日

本近現代史研究―(以上、大学院)

社会的活動

○自治体史編纂

・横須賀市史編さん委員

○講演

・哲学堂特別講座(「新しい自治を進めるワークショップ」主催)、「近代日本の食糧問題」、二〇一三年一月二日、哲学堂公園宇宙館

・古文書解読はじめて講座(神奈川県立公文書館)、「近現代の日記を読む―関東大震災を題材として―」、二〇一三年六月九日、三〇日

○大学・学部管理・運営活動

井上円了記念博物館館長、自然科学委員会委員、大学院文学研究科委員、人間科学総合研究所運営委員

高橋 継 男 教授

研究活動

○編著

『中国石刻関係図書目録(二〇〇八―二〇一二前半)稿』(明治大学東洋史資料叢刊一〇) 単著 明治大学東アジア石刻文物研究所 (発売) 汲古書院 B5 viii+九九頁 二〇一三年三月二十九日

○学会活動

白山史学会(常任委員)・唐代史研究会・東洋史研究会・東方学会・史学会・法制史学会・東北中国学会・中国社会文化学会・日本中国考古学会(以上、会員)

教育活動

歴史学基礎演習⑤、東洋史学演習④―范祖禹撰『唐鑑』を読む、東洋史学卒業論文演習①―卒論の作成(四年生)と確実なテーマの設定(三年生)、東洋史概説(以上、学部)東洋史学特論Ⅰ、東洋史学演習Ⅰ、東洋史学研究指導Ⅰ(以上、大学院)

大学・学部管理・運営活動

アジア文化研究所所長、大学院文学研究科委員、大学院文学研究科白山図書館運営委員会委員、文学部史学科教職課程運営委員会委員、

千葉 正 史 准教授

研究活動

○論文

・「清末近代交通通訊行政管理体制の建立と中央、地方関係の重組」単著(『当代日本中国研究』第一輯歴史・社会、二〇一三年九月)二六―三七頁。(二〇〇九年発表「清末における近代交通行政体制の確立と中央・地方関係の再編」(『中国経済研究』第六卷第一号)の翻訳(方曉霞訳))

・「清末行政綱目訳註(三)」単著(『東洋大学文学部紀要』第六七集史学科篇第三九号、二〇一四年三月) 一二三～一八二頁

○その他

・「交通運輸」単著(『中国年鑑二〇一三』、中国研究所、二〇一三年五月三十一日) 三四二～三四五頁
 ・「アヘン戦争」「太平天国の乱」「洋務運動」「日清戦争」「義和団事件」「孫文と辛亥革命」単著(日本中国友好協会編『中国百科』、めこん、二〇一三年八月三十一日) 二〇八～二一九頁
 ・史学会第一一回大会公開シンポジウム「帝国とその周辺」コメント「近代中国における「帝国」論の系譜」(東京大学、二〇一三年一月九日)

・書評「小野寺史郎著『国旗・国歌・国慶——ナショナリズムとシンボルの中国近代史——』」単著(『東洋史研究』第七二巻第三号、二〇一三年十二月三十一日) 一四〇～一五一頁
 ・「第一一回史学会大会報告 公開シンポジウム「帝国とその周辺」コメント「近代中国における「帝国」論の系譜」」単著(『史学雑誌』第一二三編第一号、二〇一四年一月二〇日) 一二〇頁

○学会活動

白山史学会(常任委員)、鉄道史学会(理事)、史学会、社会経済史学会、東洋史研究会、メトロポリタン史学会、歴史学会

教育活動

○学内 地域史(東洋) A2、地域史(東洋) B2、東洋史料研究②、歴史学基礎演習⑥・東洋史学基礎演習②、東洋史学卒論演習②、日本史学卒論演習④(以上、学部)
 東洋史学特論Ⅱ、東洋史学演習Ⅱ、東洋史学特殊研究Ⅱ、東洋史学研究指導Ⅱ(以上、大学院)
 大学・学部管理・運営活動
 障がい学生支援委員会委員、文学部自己点検・評価委員会委員、アジア文化研究所運営委員

高 島 純 夫 教授

研究活動

○論文

「国制を見る眼」『ギリシャ哲学セミナー論集』XI、一～十三頁、二〇一四年三月

○翻訳・註解

「アイネイアス『攻城論』——訳および註解——」(2)『東洋大学文学部紀要 史学科篇』三九号、一八三(76)～二二八頁(31)、二〇一四年三月

○辞典

「アンティフォン」その他五項目新稿、「アイスキネス」その他五八項目改訂、『世界人名大辞典』、岩波書店、二〇一三年

一二月

○学会・・・報告

「国制を見る眼」、第一七回ギリシア哲学共同研究セミナー、
二〇一三年九月一四日、横浜（東洋英和女学院大学）

「日韓中シンポジウム報告検討」：Fritz-Heiner Mutschler,
"Political Organization and Human Conduct in Greco-Roman and Ancient Chinese Historiography", Douglas Cairns,
"Revenge, Punishment, and Justice in Athenian Homicide Law," 「古代世界研究会サマーセミナー」、二〇一三年九月
二二日、東京（東洋大学）

○学会・・・司会その他

第十回日韓中西洋古代史シンポジウム：Opening
Ceremony Speaker, Panel 4 Chair, Panel 3 Lv報告に対する
Commentator' 二〇一三年一〇月一九—二〇日、北京（首都
師範大学）

日本西洋古典学会第六十四回大会、篠原道法「前四世紀以降
のアテナイ社会における外国人の自己認識」司会、二〇一三
年六月一日、東京（東京大学駒場キャンパス）

○学会活動

白山史学会、史学会（編集委員）、西洋古典学会、古代世界研
究会（委員）

教育活動

○学内

歴史学基礎演習⑦、西洋史史料研究①、西洋史学特講①、西
洋史学卒論演習①（以上、学部）、西洋史学特論Ⅰ、西洋史学
特殊研究Ⅰ、西洋史学研究指導Ⅰ、西洋史学演習Ⅰ、西洋史
学研究指導Ⅰ

大学・学部管理・運営活動

史学科学科長、人間科学総合研究所紀要編集委員長

鈴木道也 教授

研究活動

○論文

・「ヴァンサン＝ド＝ボーヴェ編著『大いなる鑑（*Speculum
Maus*）』の構造分析におけるテキスト・データベースの活用
—現状と課題—」単著 二〇一三年三月三〇日 『ヨーロッパ
文化史研究』一四号（五—二七頁）

・"French National Identity through Medieval Chronicles: Rise
of Vernacular Prose Historiography", *Proceedings of The 8th
Japanese-Korean Symposium on Medieval History of Europe*,
pp.83-94, 2013.

・「中世王国年代記写本のなかの世界図（*mapamundi*）」単著
二〇一四年三月一五日 『東洋大学文学部紀要』史学科篇三九
号 二二九（30）—二五八（1）頁

○学会報告

・“French National Identity through Medieval Chronicles- Rise of Vernacular Prose Historiography -”, The 8th Japanese-Korean Symposium on Medieval History of Europe (Keio University [Japan]), 22 August, 2013.

・「中世年代記写本のなかの世界図〈mapamundi〉」白山史学会 第五一回大会、二〇一三年十一月三〇日

○調査活動

・日本学術振興会科学研究費補助金（基盤研究（A））（一般）「制度と政治社会の相互関係から見たヨーロッパ中世の発展と変容」研究分担者

学会活動

白山史学会、西洋中世学会（常任委員）、西洋史研究会（評議員）、日本西洋史学会、史学会、東北史学会、The Medieval Chronicle Society（会員）

教育活動

○学内 西洋史概説、西洋史史料研究②、西洋史学特講④、西洋史学卒論演習②（以上、学部）、西洋史学特論Ⅱ、西洋史学演習Ⅱ、西洋史学研究指導Ⅱ、西洋史学特殊研究Ⅱ（以上、大学院）

社会的活動

・埼玉県平和資料館運営協議会委員
・埼玉県教科用図書選定審議会委員
・NHK文化センターさいたまアリーナ教室講師（「世界遺産で

学ぶヨーロッパ史」
大学・学部管理・運営活動
なし。

後 藤 はる美 講師

研究活動

○読書案内

・「ピューリタン革命から三王国戦争へ」『歴史と地理 世界史の研究』二三六号、二〇一三年八月、四三～四六頁

○辞典

・イギリス史関係項目校閲・執筆、岩波書店辞典編集部『岩波世界人名大辞典』岩波書店、二〇一三年十二月

○学会・研究会報告等

・報告者、「君主のいない共和国」と礫岩国家」日本西洋史学会第六三回大会、小シンポジウム3「近世ヨーロッパにおける礫岩国家」（於京都大学、二〇一三年五月二二日）
・司会、マイケル・J・ブラディック来日セミナー「Dramatizing Suffering in the English Revolution」（於東京大学、二〇一三年一〇月一〇日）

・通訳、公開シンポジウム「グローバルヒストリーアジアからの視座」主催東洋大学人間科学総合研究所、共催白山史学会（於東洋大学、二〇一三年七月二二日）

○研究プロジェクト

- ・研究代表者、科学研究費補助金（若手B）「王政復古期イギリスにおける臣民と市民」（二〇一三～二〇一六年度）
- ・研究分担者、科学研究費補助金（基盤B）「歴史的ヨーロッパにおける複合政体のダイナミズムに関する国際比較研究」（研究代表者・古谷大輔〔大阪大学〕、二〇一三～二〇一六年度）

学会活動

白山史学会、史学会、西洋史学会、都市史学会

教育活動

学内 英語I B⑤⑥⑦、西洋史学特講⑥、西洋史学卒論演習④
学外 明治学院大学（非常勤講師） 世界史

大学・学部・管理活動

外国語委員

岡本 充 弘 教授

研究活動

○共著

・喜安朗・北原敦・岡本充弘・谷川稔編『歴史として、記憶として』御茶の水書房、二〇一三年五月（全三二二頁、担当執筆分「編集を終えて」三二五～三二二頁）

○翻訳

・ピーター・バーク「文化史の強みと弱み」『思想』一〇七四号（岩波書店、二〇一三年十月）三六～五三頁

○学会・研究会報告等

発表

- ・「Personalization of History and Collectivization of Memory, Historian as Engaged Intellectuals」於ポーランド大学、二〇一三年九月二〇日
- ・「国際文化史学会に参加して」文化史研究会、於女子美術大学、二〇一三年十一月一六日

講演

- ・「歴史の個人化、記憶の共同化」学習院大学史学会例会、二〇一三年九月二〇日

○研究プロジェクト

- ・研究代表者、「文化的意識としての過去認識」（平成二五年～二七年度科学研究費・基盤C）

・研究代表者、「トランスナショナル・カルチュラルヒストリーの今後」（平成二五年度東洋大学人間科学総合研究所研究所プログラム）

○学会活動

白山史学会会員（常任委員）、現代史研究会会員、史学会会員、西洋史学会会員、世界史研究会会員（理事）、ISCH（国際文化史学会会員）、WHA（世界史学会）会員。

教育活動

史学概論、歴史学基礎演習、西洋史史料研究3、西洋史学卒業論文演習3、西洋史学特論Ⅲ〔大学院〕西洋史学演習Ⅲ〔大

学院〕西洋史学研究指導Ⅲ〔大学院〕西洋史学特殊研究Ⅲ〔大学院〕

大学・学部・管理活動

大学院史学科専攻長・人間科学総合研究所運営委員。

松 本 剣志郎 助教

研究活動

○論文

・「交代寄合東高木家の江戸屋敷書上」〔『白山史学』四九号、二〇一三年五月〕四一―五七頁

・「質の高い学芸員有資格者の輩出を目指して」〔『東洋大学博物館学年報』二六号、二〇一四年三月〕

○書評

・「白川部達夫著『近世質地請戻し慣行の研究』」〔『白山史学』四九号、二〇一三年五月〕一〇一―一〇七頁

○分担執筆

・大石学編『徳川歴代将軍事典』（吉川弘文館、二〇一三年九月）
「高間伝兵衛」「目黒行人坂の大火」の二項目

○調査活動

・東洋大学井上円了記念研究助成「近代・近代の地域社会と名望家」（研究代表者・白川部達夫） 分担研究者

○学会活動

白山史学会、関東近世史研究会、地方史研究協議会、日本ア

カイブズ学会、日本史研究会、日本歴史学会、歴史学研究会、都市史学会

教育活動

○学内 日本史学特講⑥、日本史学演習⑩、博物館概論、博物館実習Ⅱ

社会的活動

○講演

幕末維新祭り・第五回歴史講演会「吉田松陰の明治・大正」
（二〇一三年一〇月二七日、於国士館大学講堂）

○大学・学部管理・運営活動

井上円了記念博物館運営委員

二〇一三年度文学部史学科講義題目

※は二〇〇四～二〇〇七年度のカリキュラム科目

*は二〇〇八～二〇一一年度のカリキュラム科目

#は二〇一二年度以降のカリキュラム

日本史概説※*#	—日本における中世の成立と統一政権の出現—	教授	神田千里
東洋史概説※*#	—中国魏晋～隋唐史—	教授	高橋継男
西洋史概説※*#	—ヨーロッパ世界の成立と変容—	教授	鈴木道也
歴史学基礎演習①※*#	—日本史の論文を読んでみよう—	教授	大豆生田稔
歴史学基礎演習②※*#	—史料・文献・論文を読みこなす—	教授	神田千里
歴史学基礎演習③※*#	—日本近世古文書史料の解読—	教授	白川部達夫
歴史学基礎演習⑤※*#	—歴史研究のための基礎的学力を、東洋史を例にしてやしなう—	教授	高橋継男
歴史学基礎演習⑥※*#	—歴史学とはどのような学問なのか身近な東洋史より学んでみよう—	准教授	千葉正史
歴史学基礎演習⑦※*#	—西洋古代史入門—	教授	高畠純夫
歴史学基礎演習⑧※*#	—歴史の基礎的研究方法—	教授	岡本充弘
日本史史料研究①※*	—日本古代史の史料読解方法—	教授	酒寄雅志
同 ②※*	—中世史料を読む—	教授	神田千里
同 ③※*	—近世村落文書を読む—	教授	白川部達夫

同	④※*	—日本近現代史史料の講読—	教授	大豆生田 稔
東洋史史料研究①※*	—アラビア語史料の英訳の講読—	講師(兼)	柴山 滋	
同	②※*	—中国史関連文献史料の基礎学習—	准教授	千葉 正史
西洋史史料研究①※*	—古代ギリシア史料講読—	教授	高畠 純夫	
同	②※*	—中世ヨーロッパの史料を読み、考え、理解する—	教授	鈴木 道也
同	③※*	—史料の発見・講読—	教授	岡本 充弘
史学概論※*	—現代社会における歴史研究の可能性—	教授	岡本 充弘	
日本史学卒論演習①※*	—日本古代史の研究手法—	講師(兼)	有富 純也	
同	②※*	—日本中世史の諸問題—	教授	神田 千里
同	③※*	—近世史の諸問題—	教授	白川部 達夫
同	④※*	—日本近現代史の卒論作成—	准教授	千葉 正史
同	⑤※*	—日本近現代史の卒論作成—	教授	大豆生田 稔
東洋史学卒論演習①※*	—卒論の作成(4年生)と確実なテーマの設定(3年生)—	教授	高橋 継男	
同	②※*	—東アジア近現代史の卒論作成—	准教授	千葉 正史
同	③※*	—アジア史の諸問題—	講師(兼)	栗山 保之
西洋史学卒論演習①※*	—西洋古代史卒論作成—	教授	高畠 純夫	
同	②※*	—中世と近世ヨーロッパ史の卒論を書くために—	教授	鈴木 道也
同	③※*	—ヨーロッパ近現代史研究—	教授	岡本 充弘
同	④※*	—ヨーロッパ近世史専攻のための卒論作成法—	講師	後藤 はる美

同	日本史学演習①※*	—『日本書紀』の講読—	講師(兼)酒寄雅志
	同 ②※*	—撰関期の史料を読む—	講師(兼)有富純也
	同 ③※*	—『吾妻鏡』講読—	講師(兼)高橋典幸
	同 ④※*	—中世日本の対外関係—	講師(兼)中島敬
	同 ⑤※*	—地域の近世史料を読む—	講師(兼)斉藤司
	同 ⑥※*	—『会津藩家世実記』を読む—	講師(兼)小池進
	同 ⑦※*	—近現代日本の史料を読む—	講師(兼)中村崇高
	同 ⑧※*	—グローバル視点の近現代史—	講師(兼)大西比呂志
	同 ⑨※*	—多彩な史料をもとに多様な歴史をみとおす—	講師(兼)内藤一成
	同 ⑩※*	—江戸の町触をよむ—	助教 松本剣志郎
同	東洋史学演習①※*	—南アジア史の特質—	講師(兼)石川寛
	同 ②		本年 度 休 講
同	③※*	—『三国志』の精読 — 史料を読み解く方法を身につける—	講師(兼)石岡浩
同	④※*	—范祖禹撰『唐鑑』を読む—	教授 高橋継男
同	⑤※*	—清朝文献史料の研究—	講師(兼)石橋崇雄
同	⑥※*	—中期アッバース朝史の研究—	講師(兼)柴山滋
西洋史学演習①※*	同	—古代ギリシア社会の諸相—	講師(兼)上野愼也
	同 ②※*	—古代ローマ社会史…古代ローマの公衆浴場—	講師(兼)井上秀太郎
	同 ③※*	—ビザンツの歴史と歴史叙述—	講師(兼)都甲裕文

同	④※※	―概念史と社会史／文明・文化と時間―	講師(兼)猪刈由紀
同	⑤※※	―フランス近世史演習―	講師(兼)坂野正則
同	⑥※※	―収容所群島とシベリア抑留を考える―	講師(兼)山本秀行
同	⑦※※	―歴史のなかのジェンダー・人種・階級―	講師(兼)渡辺賢一郎
日本史学特講①※※	⑧※※	―古代寺院の成立と展開―	講師(兼)岡本東三
同	②※※	―古代日本の人と官衛を通して国際交流を考える―	講師(兼)酒寄雅志
同	③※※	―日本古代国家論―	講師(兼)有富純也
同	④※※	―戦国・織豊期「日本」の政治構造と社会―	講師(兼)柴裕之
同	⑤※※	―中世武家政権史―	講師(兼)細川重男
同	⑥※※	―近世都市論―江戸―	助教 松本剣志郎
同	⑦※※	―日本の近世―近代の経済を地域の視点から見る―	講師(兼)井奥成彦
同	⑧※※	―近現代日本の経済史―	教授 大豆生田稔
同	⑨※※	―アーカイブズ学の基礎と実践―日本近現代史を対象として―	講師(兼)中村崇高
同	⑩		本年度休講
東洋史学特講①	②※※	―アジアにおける訴訟の比較史	本年度休講
同	③※※	―一三世紀中国の訴訟社会を基点として―	講師(兼)石川重雄
同	④※※	―宋代軍事制度の諸問題―	講師(兼)大室智人
同	④※※	―清朝史上の諸問題―	講師(兼)石橋崇雄

一一七三

自然誌概論※*# — 生命の仕組みとそれを取り巻く社会 —

博物館概論（秋学期）*#

博物館学各論※

博物館実習Ⅰ①※* — 文献・民俗資料の取扱と模擬展示 —

博物館実習Ⅰ②

博物館実習Ⅰ③

博物館実習Ⅰ④

博物館実習Ⅱ（春学期）※*

卒業論文※*

〔備考〕

歴史学基礎演習①③は日本史学基礎演習Ⅰ、日本史学基礎演習に同じ。

歴史学基礎演習⑤⑥は東洋史学基礎演習Ⅰ、東洋史学基礎演習に同じ。

歴史学基礎演習⑦⑧は西洋史学基礎演習Ⅰ、西洋史学基礎演習に同じ。

日本史学基礎演習Ⅱは日本史学演習に同じ。

東洋史学基礎演習Ⅱは東洋史学演習に同じ。

西洋史学基礎演習Ⅱは西洋史学演習に同じ。

講 師 （兼）	瀧 景 子
助 教	松 本 劍 志 郎
講 師 （兼）	龍 澤 潤
本 年 度 休 講	本 年 度 休 講
講 師 （兼）	久 野 雅 司
本 年 度 休 講	本 年 度 休 講
助 教	松 本 劍 志 郎

二〇一三年度大学院文学研究科史学専攻講義題目

〔博士前期課程〕

日本史学特論Ⅰ	— 奈良時代伝記史料の講読 —	講師（兼）	鐘江宏之
日本史学特論Ⅱ	— 織田政権論の諸問題 —	教授	神田千里
日本史学特論Ⅲ	— 日本近世の民衆と権力 —	教授	白川部達夫
日本史学特論Ⅳ	— 日本近現代史の諸問題 —	本年	年度休講
日本史学特論Ⅴ	— 日本近現代史の諸問題 —	教授	大豆生田稔
日本史学演習Ⅰ	— 日本中世史の諸問題 —	本年	年度休講
日本史学演習Ⅱ	— 近世の国家と社会 —	教授	神田千里
日本史学演習Ⅲ	— 日本近現代史研究 —	教授	白川部達夫
日本史学演習Ⅳ	— 中国唐代の墓誌の検討 —	本年	年度休講
日本史学演習Ⅴ	— 近現代中国における民族観の変遷と政治体制の変革 —	教授	大豆生田稔
東洋史学特論Ⅰ	— 中国唐代史料の検討 —	教授	高橋継男
東洋史学特論Ⅱ	— 清末中国における近代化過程の検討 —	准教授	千葉正史
東洋史学特論Ⅲ	— 古代ギリシア史研究 —	本年	年度休講
東洋史学演習Ⅰ		教授	高橋継男
東洋史学演習Ⅱ		准教授	千葉正史
東洋史学演習Ⅲ		本年	年度休講
東洋史学演習Ⅳ		教授	高橋継男
東洋史学演習Ⅴ		准教授	千葉正史
西洋史学特論Ⅰ		教授	高橋純夫

日本史学研究指導Ⅱ	— 日本中世史の諸問題 —
日本史学研究指導Ⅲ	— 近世の国家と社会 —
日本史学研究指導Ⅳ	
日本史学研究指導Ⅴ	— 日本近現代史研究 —
東洋史学研究指導Ⅰ	— 中国唐代史研究指導 —
東洋史学研究指導Ⅱ	— 東洋史学研究指導 —
東洋史学研究指導Ⅲ	
西洋史学研究指導Ⅰ	— 西洋古代史研究指導 —
西洋史学研究指導Ⅱ	— 中近世ヨーロッパ史研究指導 —
西洋史学研究指導Ⅲ	— 近代化の諸問題 —

教授	神田千里
教授	白川部達夫
本	年度休講
教授	大豆生田稔
教授	高橋継男
准教授	千葉正史
本	年度休講
教授	高畠純夫
教授	鈴木道也
教授	岡本充弘

二〇一三年度卒業論文題目

〔日本史学専攻コース〕

戦後道徳教育改革と特設「道徳の時間」の設置	五十嵐 早紀	近世漁村の研究	佐藤 真哉
江戸時代の女子教育	中田 真未	近世の芸能取締りと役者身分	渡部 雅人
江戸幕府奏者番の研究	吉田 竜太郎	川船改について	井岡 延介
関東における酒造経営の研究	佐藤 祥太郎	近世後期の東海道藤沢宿助郷村々の役負担	岩崎 優美
戦国時代の雑兵について	為 真璃奈	近世の災害と復旧	中条 愛
語られた「青年将校」像―二・二六事件を中心として	伊藤 詩織	下野国の助郷制と農民負担	増渕 真之
江戸末期の見世物興行について	進藤 ゆかり	古代における喪服の研究	富田 安紀
近世飯盛女について	大澤 未穂	戦後衣服の変遷 ―一九四五―一九五五年を中心として―	山口 祐美子
平安時代における姻戚関係について	河田 恵里	近世中後期における絞り油業の展開	高橋 尚志
明治前期の食物改良論について	小玉 彩夏	宣教師からみた織田信長	嶋田 裕介
大化改新における蘇我氏討伐の意義	戸張 佑子	寝殿造の研究	片野 達也
戦後初期における社会保障の形成	小山 森也	近世関東の蘭草の流通について	山口 良真
藤原不比等と古代政治史	片山 真名美	戦後教育委員会の公選制成立と廃止の過程について	助川 渉
古代日本の在地祭祀について	小林 奈緒	戦時期におけるスポーツ ―明治神宮競技大会と学生参加問題	遠藤 智秀
戦時体制期に至る体育教育の再編	黒崎 貴嗣	武州伝馬騒動の研究	伊藤 銀河
伊勢斎王について	長谷川 駿	明治前期における製茶輸出と狭山会社	小川 陽平
平家一門の権力形成について	角田 冴和子	明治前期における私学	浪瀬 雄太
近世天下祭について	清水 瑛美	豊臣政権と長宗我部氏	百田 友哉
飛鳥時代における槻とその周辺	洪澤 峻宏	戦時期における仏教界の戦争協力 ―真宗教団を中心として―	里見 奎周

戦国期島津氏の権力形成について

近世伊奈氏の地方支配形態

女院の実態と政治的影響力について

古河藩の家臣団について

織田権力の越前支配

生産調査会の設立と政友会

高度経済成長期における千葉の鉄道

沖縄戦 ― 集団自決問題の再検討 ―

信濃国における奉公人の雇用と展開

平安貴族と陰陽師について

埼玉県における生活改善運動の展開

後北条氏の領国支配における北条氏邦の役割

旧生活保護法の成立過程

九十九里浜の網主と干鰯取引について

大名転封と城受取

御免関東上酒の研究

戦時体制下の野球界 ― 大学・職業野球を中心として ―

戦国期における播磨国鶴庄

寺社の獲得した「制札」

初期ヤマト王権における三輪山信仰

関東木綿の展開と市場争論

日本古代都市の衛生環境について

関東の弥生集落についての研究 ― 茨城県を中心に ―

奈良の民衆指導僧「行基」

戦国の村と戦争

宮中養蚕教師としての田島武平・弥平

鉄道建設とお雇い外国人

日本古代のお酒について

新潟市における近代都市交通の発展

江戸幕府鷹場制度の終焉と提飼場

日本古代における駅家の経営について

北条氏照と大石氏

享徳の乱と古河公方の成立

戦後豊島区における文化・芸術活動

国家総動員体制期における在日朝鮮人社会の変化

戦後初期の沖縄をめぐる日米関係

「従軍慰安婦」問題について

世直し一揆に関する一考察

関東大震災における朝鮮人虐殺事件の研究史

埼玉県南東部における公害問題

平安から鎌倉期における正月の宴会について

柳町圭佑

堀内美幸

稲谷渉

北裏有希子

内田寛之

小田切知佳

樋山拓也

榎本茉那

富みさき

神宮寺雄大

後藤陽介

添田理沙

小野寺紀明

福島大喜

渡辺翔太

落合明日香

馬場貴史

富樫隆一

羽生亜彩美

嶋津大地	内田哲朗	田村駿	宮島依実子	阿部研人	伊藤陽平	印藤佑太郎	佐々木奈緒子	牛久翔太	佐藤千穂	中島美咲	鈴木恭平	藤掛隆太	鈴木真衣子	御園生孝史	上野敦司	齋藤滉佑	重藤智彬	福世亮介	田島大幹	中本美穂	金木祐磨
------	------	-----	-------	------	------	-------	--------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	------	------	------	------	------	------

〔東洋史学専攻コース〕

五胡十六国時代の徙民政策
徽州商人の経営組織と宗族
北洋海軍のドック整備問題と長崎事件

鈴木 木菜月
仁井 暉
小倉 拓也

〔西史学専攻コース〕

古代ギリシアにおける蛇
十二、三世紀における「アンジュール帝国」の対外関係について

木内 綾乃

フランスの食文化の発展

玉川 晴佳

イギリスの外交と中東問題

相澤 香那

ペルシア戦争

高嶋 慶太

ナチス・ニュース映画の存在意義

米田 彩

聖職者妻帯の変遷について

末 志保

ドイツにおけるプロイセンの解消

田之岡 澄恵

ハプスブルク帝国における多言語の問題について

佐々木 彩奈

近世ヨーロッパの魔女像

清水 菜摘

近年の古代末期研究

藤井 雄太

中世ヨーロッパにおけるアリストテレス主義の受容

前田 晴香

古代ギリシアとスポーツ

加藤 恵

パプと民衆について

藤田 翔
村上 絵里

エリザベス一世とその時代

絶対王政期フランスの宮廷と儀礼

アメリカの自動車産業の発展と、それにまつわる諸問題

齋藤 友佳
荒井 琴葉

中世ヨーロッパの時計と時間

大森 瑛乃

古代ローマの大理石

小川 佳奈子

中世ヨーロッパにおける異端の諸類型

本田 大紀

イングランド宗教改革期におけるヘンリ8世の外交政策

村上 真央

アヴァンギャルド

林 晃輝

中世ヨーロッパにおけるキリスト教と音楽

鎌田 葉子

中世ヨーロッパのシトー会修道院

白柳 知咲

中世ヨーロッパの戦争に見る技術の変容

佐野 嘉音

中世ヨーロッパにおける服飾と色彩

三石 奏絵

中世ヨーロッパにおける女性と結婚

鈴木 志保

「怪物」から見る中世ヨーロッパ人の心性

関口 麻悠子

11-13世紀におけるカトリ派の思想とその行動

岡村 綾乃

公民権運動からのアフアーマティヴ・アクション

黒柳 朔也

サンティアゴ巡礼と中世ヨーロッパにおける観光

原嶋 哲哉

欧州商人と現地の人々

石井 匠

イギリス王室とマスコミ

中村 洸太
鈴木 貴大

EU統合の軌跡

井上 翔太郎

マイノリティからマジョリティへの変化

芦塚 真希

―力を持つ多数と抑圧の関係を探る

十八〜十九世紀フランスにおける女性の地位と生活

鈴木 美優加

奢侈禁止法と衣服の消費

古代ギリシアにおける復讐と穢れ

宮崎 聡美

南北戦争の意味

若林 孝哉

16世紀イングランドにおける民衆と社会

内山 恵理子

中世ヨーロッパの自由と自治

幅口 諒

クロムウェルとアイルランド問題

秋山 理恵

中世ヨーロッパの商業ネットワークと都市の成長

司馬 亮太

二〇一三年度修士論文題目

大伴氏の氏族構造と奈良・平安時代政治史の展開

上村 正裕

近世後期における関東在方醤油醸造家の研究

高田 誠治

古代における畿内周辺地域の考察

今井 源吾

―近江国を一事例として―

唐後半期の江淮統治政策

小林 栄輝

―とくに浙西藩鎮を中心として―

前近代イギリススウェーデンの鉄貿易

玉造 えりか

執筆者紹介

森 公章 文学部教授

白川部達夫 文学部教授

大豆生田稔 文学部教授

千葉 正史 文学部准教授

鈴木 道也 文学部教授

高島 純夫 文学部教授

東洋大学文学部紀要 第67集

史学科篇第39号

二〇一四年二月二四日 印刷

二〇一四年二月二八日 発行

〔非売品〕

編集者 東洋大学文学部史学科研究室

発行所 東 洋 大 学

東京都文京区白山五―二八―二〇

制作 共立印刷株式会社

東京都杉並区和田一―一四―一三

Bulletin of Toyo University

No. 67

Department of History

The Faculty of Literature

No. 39

2013

Contents

Articles

Minamoto no Yorinobu and his descendants Kawachi Genji MORI, KIMIYUKI (1)

Oumi-Ya Ichibey Company, Manure Dealer in *Osaka* (1) ... SHIRAKAWABE, TATSUO (51)

The Expansion of Imports of Rice from Southeast Asia
during the Wartime in Japan: 1940 - 1943 OMAMEUDA, Minoru (77)

A Copy of *Xingzheng Gangmu* (A Scheme of Administrative Reform by
late Qing Government) with Japanese Translation (3)..... CHIBA, MASASHI (123)

Aineias the Tactician: *Siegecraft*. Introduction,
translation and commentary (2)..... TAKABATAKE, SUMIO (228)

A Study on the Historical View of the World in Medieval *Mappamundi*
-a *mappamundi* in the manuscript of medieval vernacular chronicle
“*Roman des roys*” (*Paris, Bibliothèque Ste-Genièvre, MS 782*)-
..... SUZUKI, MICHIO (258)

Miscellanea (259)

Published by

Toyo University

Hakusan, Bunkyo-ku, Tokyo